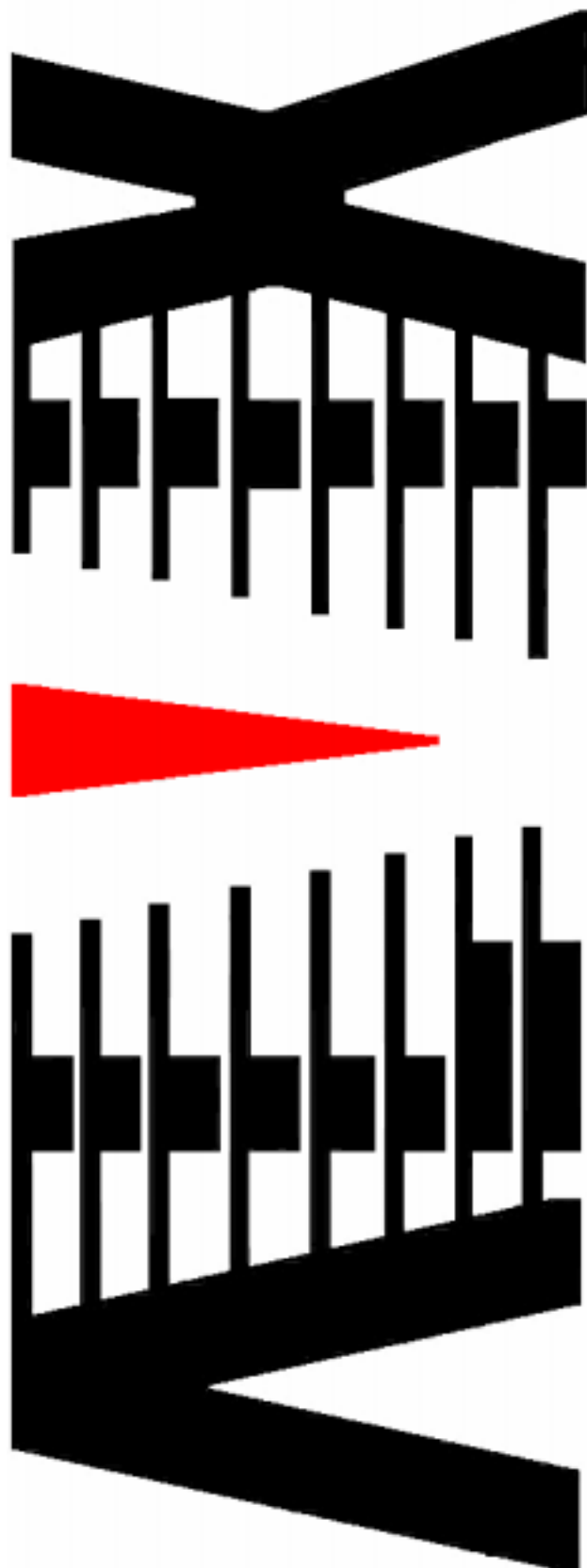


アルビクス・AV マトリックススイッチャー
ALVIX AV MATRIX SWITCHER

V Xシリーズ

取扱説明書

Ver.No. 3.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して安全の為の指示に従って下さい。もし不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

付属品

取扱説明書	1
インターフェイス仕様書	1
電源コード	1
取付金具（EIA ラック用）	1組
保証書	1

目次

御使用上の注意事項	2
1. 各部の名称	
(1) フロントパネル	3
(2) リアパネル（筐体・電源部）	3
(3) 映像入出力ボード	4
(4) 音声入出力ボード	4
(5) CPUボード	5
2. 準備	
(1) VX 動作設定	6
(2) RS-232C 通信条件の設定	6
(3) 接点制御コネクタ	7
3. テンキー操作方法	
(1) テンキーの説明	8
(2) テンキーの操作	10

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい(安全にお使いいただくために)

警告

内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。

(火災や感電、故障の原因となります。)

煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。

(感電やショート、火災の原因となります。)

電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。

(電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)

電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。

(感電やショート、火災の原因となります。)

仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。

(火災や感電の原因となります。)

お願い

風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。

(故障の原因となります。)

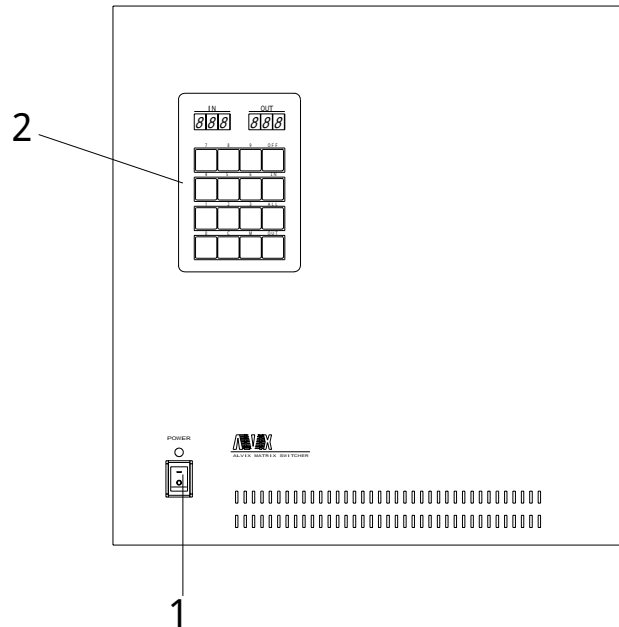
次の様な所には置かないで下さい。

湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いたところ

(故障の原因となります。)

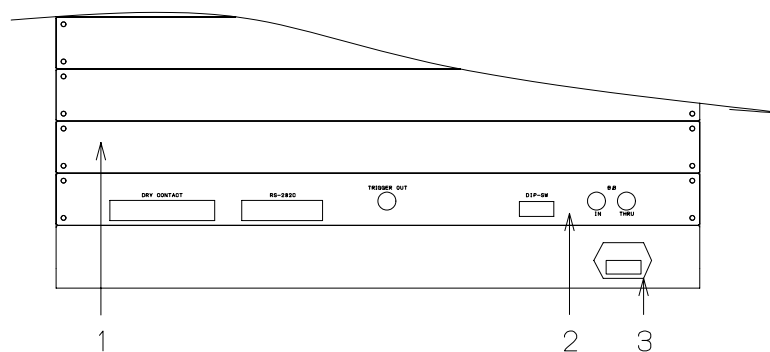
1. 各部の名称

(1) フロントパネル



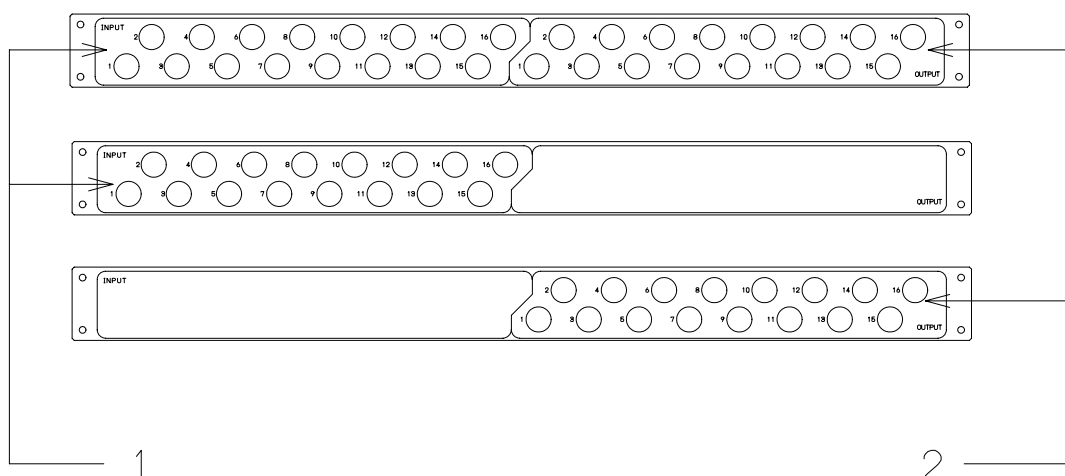
1. 電源スイッチ
電源コードをコンセントに差込み、このスイッチを上側にすると電源が入ります。
2. テンキー操作部
チャンネル設定等、機器の操作に使用します。(8ページ「3. テンキー操作方法」を参照)

(2) リアパネル



1. 映像、音声入出力ボード実装部
2. CPUボード
3. 電源コネクタ
付属の電源コードでコンセント(AC100V 50/60Hz)に接続します。

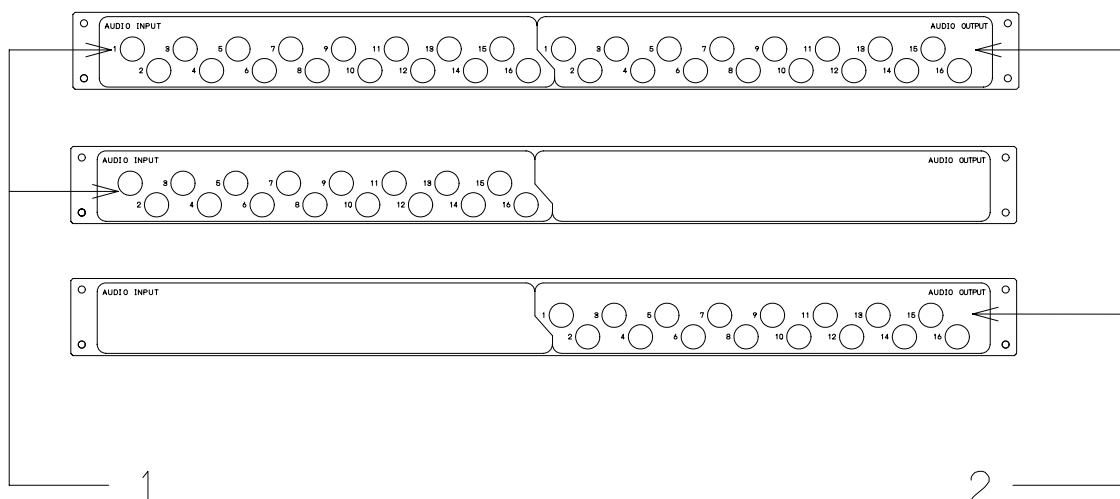
(3) 映像入出力ボード



映像入出力ボードには上記のように3種類のボードがあります。
ボードの構成は入出力数により異なります。

- 1 . コンポジットビデオ信号入力 (I N P U T)
- 2 . コンポジットビデオ信号出力 (O U T P U T)

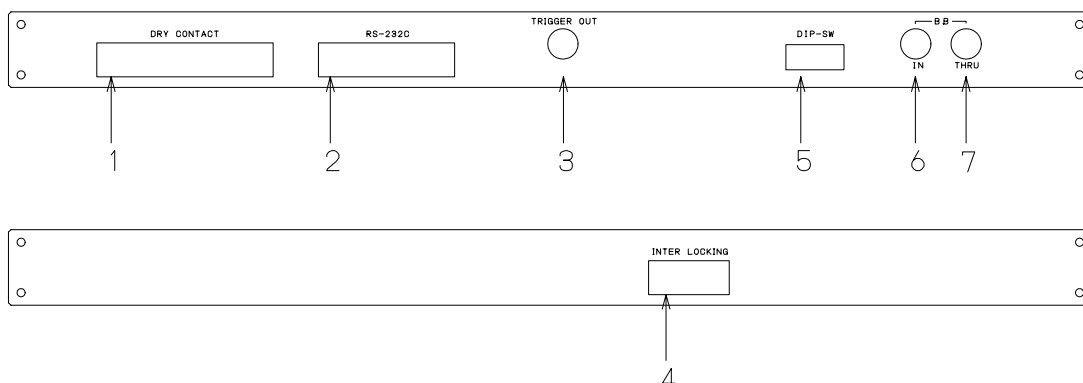
(4) 音声入出力ボード



音声入出力ボードには上記のように3種類のボードがあります。
ボードの構成は入出力数により異なります。

- 1 . 音声信号入力 (I N P U T)
- 2 . 音声信号出力 (O U T P U T)

(5) CPUボード



VXシリーズのCPUボードには上記の2種類があります。

1. 接点制御コネクタ (DRY CONTACT)
D-sub 37P メスコネクタです。16 点の接点入力とそのタリー出力があります。
詳細は7ページ「2. 準備」の“(2) 接点制御コネクタ”をご覧ください。
2. RS-232C (RS-530) コネクタ (RS-232C)
D-sub 25P メスコネクタです。コンピュータ等で、制御する場合に使用します。
詳細は別冊の「インターフェイス仕様書」をご覧ください。
3. トリガー出力コネクタ (TRIGGER OUT)
弊社製ジャストスキャンアジャスタ J1 との接続用です。
4. 連動用コネクタ (INTER LOCKING)
他のVX, RXシリーズ筐体と連動する際に使用します。例えば、VXシリーズ (音声のみ) とRXシリーズを連動する場合はこのコネクタ同士をケーブルで接続します。
5. ディップスイッチ (DIP-SW)
RS-232C (RS-530) の通信条件を設定します。
詳細は別冊の「インターフェイス仕様書」をご覧ください。
6. ブラックバースト信号入出力 (B.B. IN/THRU)
ブランキングスイッチャーとして使用する場合、B.B.信号 (C.SYNC 信号も可) を入力します。THRU は通常は 75 Ω で終端します。

2 . 準備

(1) VX 動作設定スイッチ

VX 動作設定スイッチは CPU 基板上にあり基板を少し引き出さなくてはなりません。引き出すと RS-232C 通信条件設定スイッチのすぐ後ろにあります。その後ろにもう1つディップスイッチがありますが、これは変更しないで下さい。変更すると正常に動作しなくなります。

ディップスイッチの変更は電源が OFF のときに行ってください。また、基板はディップスイッチが操作できる位置まで引き出したら、それ以上は引かないで下さい。

特に指定のないかぎり、工場出荷時はすべて OFF です。

スイッチ 1, 2 を変更すると、クロスポイントパターン登録用メモリはクリアされます。

スイッチ位置	機 能
1	RS-232C インターフェイスの動作仕様を設定します。 OFF : ALVIX 仕様 ON : IMAGENICS 仕様
2	ALVIX 仕様時 OFF : VA 連動動作 ON : VA 分離動作 (注1) IMAGENICS 仕様時 (注2) OFF : B mode 動作 ON : A mode 動作
3	ON でメモリ登録スイッチをロックします。一度メモリ登録したパターンを変更したくないときセットします。
4	未使用 (OFF 固定)
5	未使用 (OFF 固定)
6	未使用 (OFF 固定)
7	未使用 (OFF 固定)
8	未使用 (OFF 固定)

注1) VA 分離動作とは、Video と Audio のクロスポイントを別々に設定するもので、RS-232C 制御のときだけ可能です。パネル操作では常に VA 連動動作となり、同じクロスポイントが設定されます。

注2) この設定は VX-1616 のみで有効です。VX-3232 では常に B mode になります。

(2) RS-232C 通信条件設定スイッチ

リアパネルから見えるスイッチです。RS-232C の通信条件を設定します。

工場出荷時は、

通信速度	9600bps
ストップビット	1bit
語長	8bit
パリティ	なし

に設定されています。

詳細は別冊の「インターフェイス仕様書」をご覧ください。

(3) 接点制御コネクタ (DRY CONTACT)

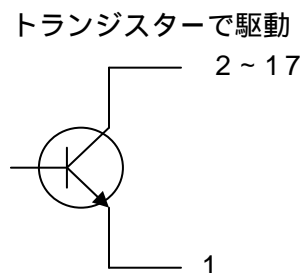
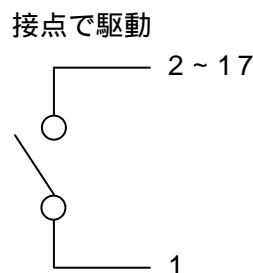
接点制御コネクタには 16 点の接点入力とそれに対応したタリー出力があります。接点入力があると、それと同じ番号でメモリ登録されているクロスポイントパターンが呼び出されますので、あらかじめパターンをメモリ登録しておかなければなりません。コネクタは D-sub 37P メスを使用しています。

接続する接点の開閉容量は、5V、15mA 以上のものを使用して下さい。トランジスタで駆動する場合、トランジスタは NPN オープンコレクタとしダーリントトランジスタは使用しないで下さい。

タリー出力は NPN ダーリントトランジスタ オープンコレクタ出力です。出力容量は 50V、100mA です。なお、ダーリントトランジスタの性質上、出力飽和電圧が 1.6V 程度ありますので、電子回路を接続する場合は注意して下さい。

ピン番号	名称	ピン番号	名称
1	接点入力コモン	20	タリー出力コモン
2	接点入力 - 1	21	タリー出力 - 1
3	接点入力 - 2	22	タリー出力 - 2
4	接点入力 - 3	23	タリー出力 - 3
5	接点入力 - 4	24	タリー出力 - 4
6	接点入力 - 5	25	タリー出力 - 5
7	接点入力 - 6	26	タリー出力 - 6
8	接点入力 - 7	27	タリー出力 - 7
9	接点入力 - 8	28	タリー出力 - 8
10	接点入力 - 9	29	タリー出力 - 9
11	接点入力 - 10	30	タリー出力 - 10
12	接点入力 - 11	31	タリー出力 - 11
13	接点入力 - 12	32	タリー出力 - 12
14	接点入力 - 13	33	タリー出力 - 13
15	接点入力 - 14	34	タリー出力 - 14
16	接点入力 - 15	35	タリー出力 - 15
17	接点入力 - 16	36	タリー出力 - 16
18	未使用	37	未使用
19	未使用		

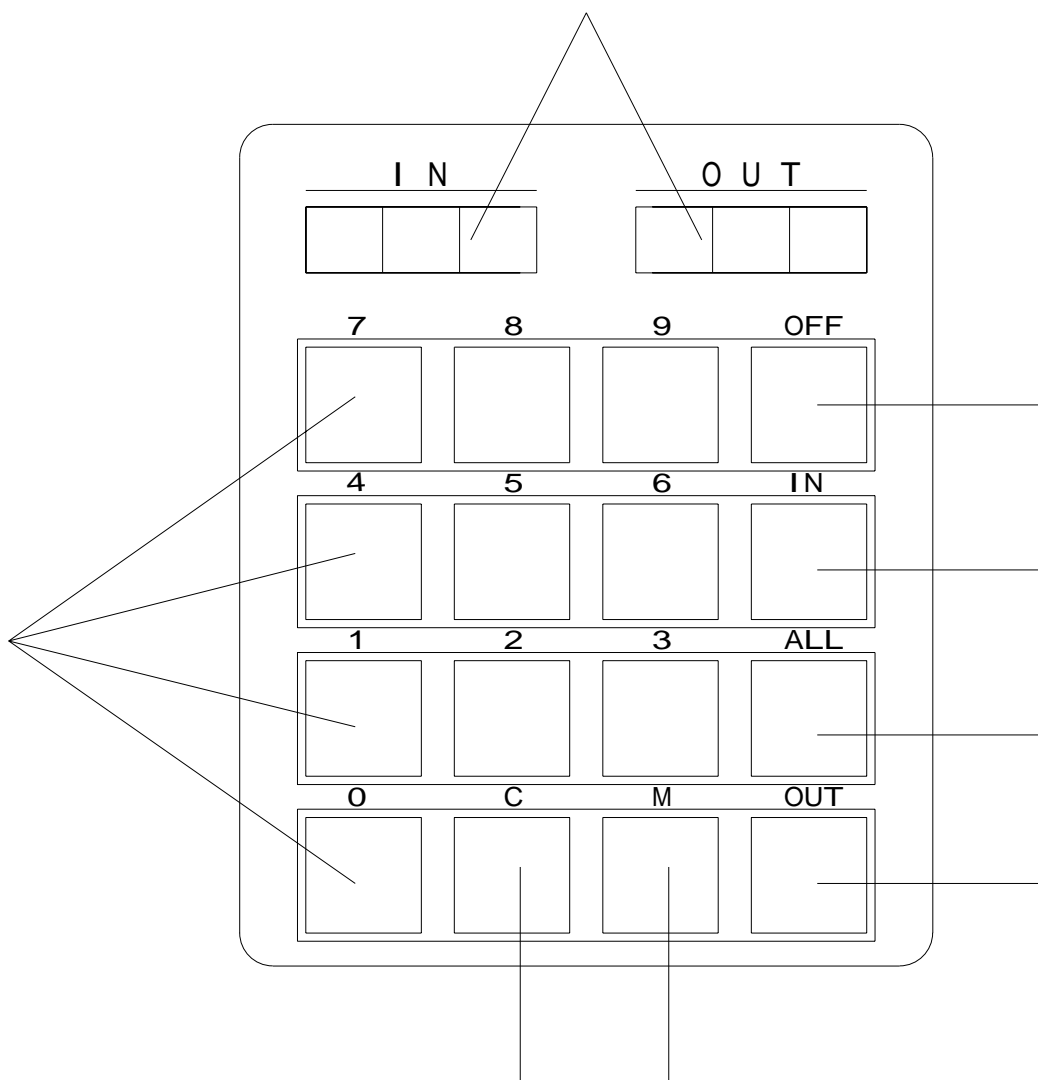
< 接点入力接続回路例 >



3 . テンキー操作方法

(1) テンキーの説明

テンキー部拡大図



クロスポイント表示部 (CROSS POINT)

指定した入力 (映像、音声信号) と出力チャンネル番号を表示します。

入・出力選択スイッチ

映像、音声信号の入・出力を選択します。 入力決定スイッチ及び 出力決定スイッチ、OFF スイッチ、 ALL スイッチと併用してクロスポイントを設定します。

入力決定スイッチ (INPUT)

入・出力選択スイッチと併用して指定された入力チャンネルを決定します。

出力決定スイッチ (OUTPUT)

入・出力選択スイッチ、 ALL スイッチと併用してクロスポイントを設定します。

OFF スイッチ

出力を無信号にします。

入・出力選択スイッチ、 ALL スイッチと併用してクロスポイントを設定します。

ALL スイッチ

すべての出力を選択します。

入・出力選択スイッチ、 OFF スイッチと併用してチャンネルを表示します。

メモリスイッチ (MEMORY)

現在のクロスポイントの設定をメモリに登録します。

入・出力選択スイッチでメモリ番号を指定します。

長押しでキーロック状態にできます。

クリアスイッチ (CLEAR)

入・出力選択スイッチ～ メモリスイッチの押し間違えをこのスイッチで全てクリアします。

(2) テンキーの操作

< クロスポイントの設定 >

クロスポイントは 入・出力選択スイッチおよび 入力決定スイッチ、 出力決定スイッチを組み合わせて押すことで指定します。

入・出力選択スイッチ 1～9、二桁であれば 1～9 を組み合わせて入力チャンネルの番号を選択し、 入力決定スイッチにて決定します。同じ要領で出力チャンネルを選択し 出力決定スイッチにて決定し、クロスポイントを表示します。

例) 3 2 番入力を 2 3 番出力と接続する場合

- 1) 入・出力選択スイッチを電卓と同じように「3」、次に「2」と押し、 入力決定スイッチ (IN) を押します。これでクロスポイント表示部の入力側 (IN) に 3 2 と表示されます。
- 2) を行った後、同じように「2」、「3」と押し、 出力決定スイッチ (OUT) を押します。クロスポイント表示部の出力側 (OUT) に 2 3 と表示されます。

出力から何も出したいくないときは、 OFF スイッチを使います。

例えば 5 番の出力を無信号にするには、 OFF スイッチを押します。その後、 入・出力選択スイッチの 5 番を押し 出力決定スイッチを押します。これで指定されたクロスポイント表示は無信号になり、クロスポイントは IN 側が OFF 表示になります。

全ての出力に同じ入力の信号を出したいときは ALL スイッチを使います。

例えば、 5 番入力をすべての出力に出すときは、出力選択時に ALL スイッチを押し、出力決定スイッチを押します。これですべての出力に 5 番の入力信号が出されました。

OFF スイッチと ALL スイッチを組み合わせればすべての出力から信号を出ないようにできます。

OFF スイッチを押し、 ALL スイッチを押します。その後 出力決定スイッチを押します。これですべて無信号になります。

<クロスポイントパターンのメモリへの登録と呼び出し>

メモリに登録するパターンは現在設定されているパターンです。予め クロスポイントの設定 の要領で設定しておきます。登録できるパターンは最大64です。

例) 現在のパターンを7番のメモリに登録するには、

メモリスイッチを押し、入・出力選択スイッチの7番を押します。その後 入力決定スイッチを押します。これで7番にパターンが登録されました。

登録したメモリの呼び出しは、メモリスイッチで行います。

メモリスイッチを押し、入・出力選択スイッチの7番を押します。その後、出力決定スイッチを押します。これで登録したメモリの呼び出しができました。

キーロックをする場合

メモリスイッチを長押しすることでキーロック状態にすることが可能です。キーロックされている間はテンキーに触れても作動いたしません。キーロック状態で再度 メモリスイッチを長押しすることで、キーロックは解除されクロスポイントの設定を行うことができます。

キーロック状態の時は下記「図1」のようにクロスポイント表示部にIN側「 - - - 」OUT側「 - - - 」と表示されます。

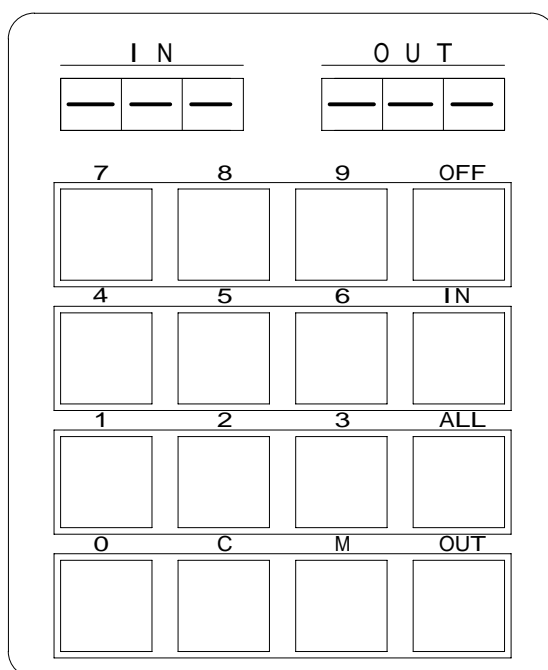


図1 キーロック時の表示

クロスポイントの設定中や未確定の場合は下記「図2」のように表示部の右下にピリオドが表示されます。

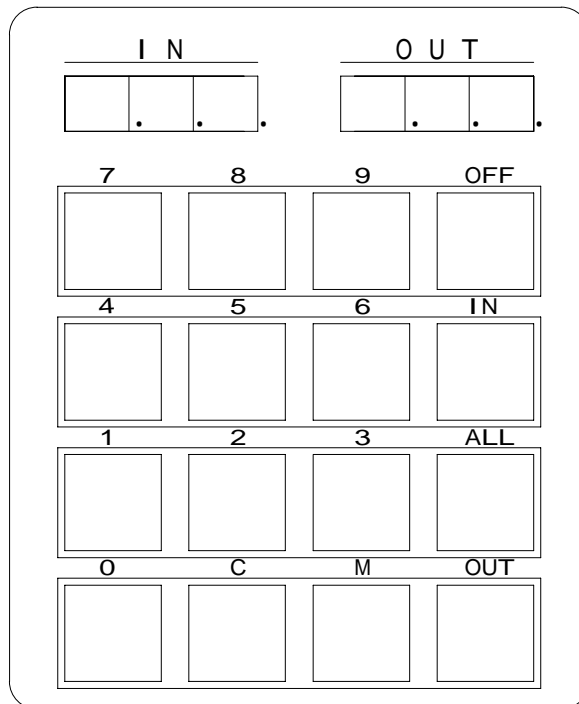


図 2 クロスポイント未決定時

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038